

地域の企業ニュースを  
きめ細かく

中部経済新聞

THE MID-JAPAN ECONOMIST

# ヘルスケア

Health Care

医療・介護・福祉

# & マネジメント

Management

## 愛知で広がる医療改善活動

高木厚労  
副大臣視察

### 藤田保健衛生大病院など 「質管理」に取り組む



改善活動に関して医師の説明を受ける高木厚労副大臣(左)

愛知県内の病院で、品質管理など産業界が持つノウハウを医療現場に生かす取り組みが進められている。製造業で確立されているトヨタ式「カイゼン」を応用した医療の質管理マネジメントを医療現場に導入、医療の質を高めるのが狙い

だ。25日に、厚生労働省の高木美智代副大臣が、改善活動に取り組む藤田保健衛生大学病院(豊明市)と大同病院(名古屋市)をそれぞれ視察した。両病院は、医療の質管理の専門性を持つリーダー医師を養成する「明日の医療

の質向上をリードする医師養成プログラム(ASUISHI) (名古屋大学医学部やトヨタグループが連携)に参加。両病院に所属する医師が、医療事故発生状況の分析や、被害を未然に防止したり最小限に抑えるための組織的対応の在り方などを習得した。

ASUISHIの講座を修了した医師は全国で89人。愛知県には34人おり、全都道府県の中で最も多い。また、ASUISHIの医師が所属する医療機関は名古屋大学医学部附属病院(名古屋市)やトヨタ記念病院(豊田市)など県内24施設に上る。

25日、視察に訪れた高木厚労副大臣は、藤田保健衛生大病院と大同病院の医療現場を見学。医療の改善活動に関する現状の説明を受けていた。